

職場体験にむけての学習が始まっています

2年生になって一か月ほどたちました。新しい学年で「勉強をがんばろう」「先輩として見習ってもらえるように」という新鮮な気持ちを持ち続けたいところです。

4月からの総合的な学習の時間や道徳の時間では、9月に3日間行う職場体験学習に向けての学習が始まっています。

職場体験とはどのようなものか、実際に職場体験をした中学生の様子を取材した映像「大人ってすごい! ~14歳の職場体験」を視聴し、勤労の尊さや意義を考えました。自分たち自身の職場体験への意気込みも少しずつ芽生え始めたかと思います。

しっかり目的をもって大人の仲間としての自覚をもって取り組みたいです。仕事をしてきている母や父の大変さを体験できる日でもあるので一生懸命頑張りたいです。大人への第一歩としてたくさん勉強できるといいなと思います。

まず、あいさつや返事をしっかりやっていきたいです。ルールやきまりを絶対に守り、テキパキと行動していきたいです。失敗はあると思うので、めげずにわからないことは聞いていこうと思います。少しでも多く社会について学びたいです。

自分の全力を出して働きたいと思います。…そこで学んだことを職場だけでなく日常生活に生かせることはないか探したいと思います。三日間、悔いが残らないようにしたいです。



また、労働の意義を考えるために「無人島に流れ着いたら…」という話し合いをしました。子どもたちだけで無人島に流れ着いてしまい、三日間生き延びるために、一か月生きるために、そして二年間みんな生きるためにしなくてはならないことを考える中で、生きていくために必要なこと、そのための役割分担こそが働く、ということなのだということに気づきました。

職業はみんなが生きていくのに必要なことや役割のことだとわかった。だから自分が役割をしっかりとやらないと困る人が出てくるのだと思った。

自分が与えられた仕事をするだけでなく、何かできることを常にさがして生きていきたいと思いました。



職場体験は、学校外でたくさんの方々にお世話になる大変貴重な取り組みです。その三日間だけががんばればいいものではありません。日常のあいさつや返事、係活動など、何か特別なことがなくても普段通りの生活の中で大切に、取り組んでいけることがたくさんありますね。今の自分はどうでしょうか? 新学期から一か月たったこの時期に自分自身の行動を振り返り、気持ちを高めていきましょう。